



芝山小だより

9月号

清瀬市立芝山小学校

校長 清水 一臣

<http://www.kiyose.ed.jp/>

芝山小の給食と子供たちの食生活

—学校給食運営協議会と今後のコロナ対応について—

校長 清水 一臣

16日間という例年に比べて短い夏休みが明け、子供たちの元気な姿が学校に戻ってきました。連日の猛暑の中、子供たちは感染症と熱中症の双方の予防に気を付けながら、勉強したり遊んだりしながら元気に学校生活を送っています。

給食も25日から始まり、一時期の特別メニューから徐々に通常のメニューに戻りつつあります。9月1日からは、これまで感染予防のために控えていたパンと果物も提供してまいります。但し、パンを食べる際はビニール袋に包んで触るとともに、果物はフォーク等で食べられるものに限定して提供します。一方、前向きで、おしゃべりしないで食べることは引き続き行っております。

このように制約が多い中で給食ですが、芝山小の子供たちはとてもよく給食を食べてくれます。教育委員会がまとめた昨年度の「学校給食残菜量調査結果一覧」によれば、芝山小の年間平均残菜量は4.1%、牛乳の残菜量は0.1%で、市内小中学校で最も少ない数字です。私がこれまで経験してきた学校の中でも極めて少ない残菜量です。なぜ、芝山小学校の子供たちはこのように残さず給食を食べるのでしょうか。その理由については、栄養士や調理員、学級担任とともに様々な調査や日頃の観察をもとに分析しなければなりません。校長としての経験から、私は次の4つの理由があると考えています。

- ①子供たちが給食中のルールを守り、落ち着いて食べていること(学級担任の指導が行き届いていること)
- ②子供たちの好き嫌いやわがままが比較的少ないこと
- ③芝小の栄養士による献立が工夫され、調理室とのチームワークがよいため、給食が美味しいこと
- ④家庭の食生活が安定し、好き嫌いなく落ち着いて食べる習慣が身に付いていること

もちろん、すべての児童に当てはまるわけではありませんが、このような要因が総合して残菜量の少なさにつながっているのではないかと考えます。

夏休み前の8月5日(水)に催された「学校給食運営協議会」では、教育委員会学務係、フジ産業(給食調理委託業者)、保護者委員の皆様をお招きして、実際に給食を食べていただきながら芝山小の学校給食について、様々な視点から意見交換をすることができました。冒頭、校長、栄養士、給食主任からは、新型コロナウイルス対策と給食対応をテーマに、6月1日の学校再開以降の段階的な給食提供と感染対策について説明するとともに、今年度のアレルギー対応や献立作成上の工夫、給食中の子供たちの様子などについてお話しさせていただきました。教育委員会からは感染予防対策やアレルギー対応など、給食運営に関して細かく配慮していることを評価していただきました。フジ産業からは、夏が本格的になる中で、調理場での職員の熱中症対策や食中毒対策について説明がありました。また、保護者の皆様からは、給食のレシピが参考になること、休校中の栄養バランスを保つのが大変だったこと、アレルギー対応への感謝の言葉、子供たちが給食を楽しみにしていることなどの意見が出されました。

今後も新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、衛生管理を徹底しつつおいしい給食の提供に尽力してまいります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、新型コロナ感染症対策ですが、8月6日付で文部科学省から「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式～」改訂版が発出されました。それによると、①通常の清掃活動の中にポイントを絞って消毒の効果を取り入れる。②児童生徒がこれらの作業を行ってもよい。(清掃当番が分担するも可)③床は通常の清掃活動の範囲④机・椅子の特別な消毒は不要=必要に応じて家庭用洗剤等で拭き掃除⑤大勢がよく手を触れる場所(ドアノブ、手すり、スイッチなど)は一日一回消毒(但し、家庭用洗剤等を用いた拭き掃除で代替可能)⑥その他、特別な消毒作業は基本的に不要⑦マスクについては常時着用から身体的距離が取れない場合に着用へと一部修正⑧熱中症予防の観点から。気温・湿度や暑さ指数が高い日にはマスクを外すよう指導する。(但しマスクを外す場合は、人と十分な距離を確保するとともに会話を控える。)⑧登下校中も同様に気温・湿度や暑さ指数が高い時はマスクを外すよう指導する。(自分で判断が難しい子供へは積極的に声をかけるなどの指導をする。)などのことが明記されておりました。

これを受けて学校といたしましては、清瀬市教育委員会の方針にも従いつつ、まず、清掃活動については、これまで児童一人一人が自分の机と椅子を界面活性剤で清掃していましたが、学級内の掃除当番が清掃に当たることとします。公共で使用するものについては、これまで通り教職員が消毒作業を行います。また、熱中症予防の観点から、子供同士の距離に配慮しながら、原則着用としつつも必要に応じてマスクを外すよう指導してまいります。引き続き感染症予防に配慮しながら対応してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。